

# 地域医療連携室だより

No. 23  
2018. 01

新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましてはお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、格別のご指導・ご支援を賜りまして、誠にありがとうございました。

当院はこれまで、「いま求められている医療の最高レベルを目指すとともに、明日の医療のあり方に機能しよう」を理念として掲げ、腎臓、循環器を中心に急性期医療のトップレベルを目指し、成長してきました。

しかし、厚生労働省の勧める地域包括ケアシステムや今後の人口動態を考えると、今現在求められている医療というのは、急性期医療のみならず、地域の中でのサブアキュート及び、慢性期の医療に貢献することも重要課題と捉えております。これらをふまえ、従来考えを変換していく時期が来ていると認識いたしております。

昨年8月には、望月高明顧問を病棟医長として、「地域包括ケア病棟」を開設いたしました。約4カ月が経過し、ようやく軌道に乗りはじめ、院内のポストアキュートの転床だけでなく、他院からのサブアキュート、在宅のレスパイトなども受け入れが可能となりました。今までの急性期医療は勿論のこと、地域の皆さま方に満足して頂ける医療を提供できるよう、職員一丸となって努力していく所存です。本年もご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、平成30年が皆さまにとって、佳き年になりますよう心より祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

土谷総合病院 院長 土谷 治子



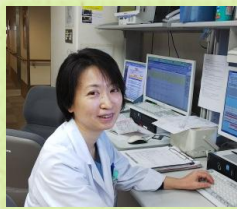
あけまして  
おめでとうございます

平成三十年 元旦



# 産婦人科医による妊娠糖尿病についての取り組み

産婦人科 道方香織



7月に着任しました産婦人科の道方と申します。これまで宮崎県を中心に約20年間周産期医療に携わり、今回地元へ帰って参りました。前任地では、より良い周産期予後を目指し、合併症妊娠の管理は妊産婦の病態生理を心得ている産科医師が主体で行うという方針のもと、各科の専門の先生方にご協力いただきながら周産期管理を行ってきました。特に発症頻度が高い妊娠糖尿病は診る機会も多く、産科医としての主な診療の一つでした。

妊娠糖尿病は、妊産婦にとっては周産期合併症予防のための妊娠管理だけでなく、将来的な糖尿病の発症リスクを視野にいれた長期的なフォローアップが必要な疾患です。また、胎児にとっては、胎内環境への曝露が成人期の疾患につながるとされており、生涯に関わる問題です。

今回の着任をきっかけに、当院でも妊娠糖尿病と糖尿病合併妊娠について、産婦人科医が主体となつての管理を試みています。診断がついた段階で、病状精査と患者教育の目的で短期入院していただき、自己血糖測定と必要時の強化インスリン療法導入を行っています。その後は外来管理へ移行し、最終的には耐糖能異常のない妊婦と同程度のリスクで分娩を完遂できることを目標にしています。自己管理が大きな比重を占めるため、妊婦自身に妊娠期間を通じて血糖コントロールの意義を理解していただくことが重要であり、妊婦にとって身近な存在である助産師を含めた産婦人科スタッフ全員が共通意識を持って妊婦を支えられるよう努力中です。

始めたばかりの取り組みですが、各科の先生方と連携を取りながら、母児ともに長い目でみた管理ができればと思います。対象となる症例がありましたらご紹介いただければ幸いです。今後ともよろしく願い申し上げます。



〔外来担当表〕

	月	火	水	木	金
午前	道方	土谷(治)	土谷(治)	土谷(治)	金子
	鍵元	吉本	鍵元	金子	道方
午後	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(検査)



## つ・ぶ・や・き 室長の

あけましておめでとうございます。といってもこの原稿 2017年12月に執筆しています。2017年 最も心に響いた歌、皆様は何の歌ですか？私は、さだ まさ氏の「**たくさんのおあわせ**」です。

あれは 人生訓ですね。津軽三味線で始まるイントロが気分を高揚させてくれます。

11月のコンサートでは、振付をその場で覚えて踊ってまいりました。

地域のデイサービス、施設などで老いも若さも一緒になって踊るのに最適ですよ。

静かになったと思っていたら また挑発してきたかの国、戦争が起こるのでしょうか？地球の外からみたら 皆同じ豆粒のように小さな存在なのになぜ争うのでしょうか。みんなで しあわせまわして 平和な世の中にしましょうよ！

もうひとつ、年末には 第九が各地で歌われます。広島でも、私、大好きで実はありがたいことに7回連続出場です。あの歌詞も人類愛、平等、平和を願うもの。

“Alle Menschen werden Brüder” 「すべての人々は兄弟となる」世界平和を願ってやみません。なんて大きなことを言っておりますが、まずは身近なところから 家庭→お隣さん→職場・地域としあわせまわして、皆がしあわせになれる「地域包括ケアシステム」をそれぞれの地域で構築できると

よいですね。当院は、2017年8月に地域包括ケア病棟を開設しました。

さら地域に貢献してゆく所存でございます。

2018年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

♪♪♪ 無駄に年喰った訳でもないでしょうよ酸いも甘いも噛み分けてあれが嫌いのこれが憎いの言わないのよへソ曲げないのよ

辛いことだけ数えちゃ駄目ですよしあわせいくつあったはずあれで損したこれで傷ついた言わないのよ過ぎたなら笑いましょ

ほらほらそしたら しあわせくるよ魔法の呪文は ありがとう

しあわせあげましょ 隣へまわしましょいつかまたここに 帰ってくるでしょう ♪♪♪



紙面の関係上 後略

“ちよとひやすみ”のコーナーです

地域医療連携室の室長である荒滝医師の日々のつがやきにお付き合いください。このつがやきに共感するもよし、否定するもよし…



# 皮膚・排泄ケア認定看護師(WOCN:ウォックナース)

専門分野

Wound  
創傷

Ostomy  
ストーマ

Continence  
失禁

外来 看護主任  
広島 なつき



私は、新卒で当院に入職し、消化器内科と外科の混合病棟で勤務をしていました。そこで、SSIやストーマケアで苦慮する症例に携わり、少しでも患者さんの症状改善の助けになれないか？と思い、自学していたところ病院からの協力と援助、仲間の理解や応援など多くのサポートを受け、認定看護師への道を目指し、2008年に兵庫県看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程で8か月間研修を受けさせていただきました。

2009年に皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を取得後は、金曜日午後:「ストーマ外来」で人工肛門や人工膀胱を保有している方を対象としたケアの実践と指導、木曜日:足病変などの慢性創傷を有する患者さんを専門に診る「創傷ケアセンター」でケアの実践と指導に従事、水曜日午後:足病変の予防、足病変の治癒後のフォローを目的とした「フットケア外来」で患者さん自身ではできない爪切りや、角質ケアの実践と生活指導を行なっています。

皮膚科外来を拠点に高齢者のスキンケアや、フットケア、創傷ケア、ストーマケア、それらに関わらず、患者さんが快適に、健やかに日常を過ごしていただくため、可能な限りの支援をさせていただいております。

院内の活動としては褥瘡対策に取り組み、委員会メンバーと共に状況把握と改善に努め、現在の褥瘡有病率は2.5%前後ではあるものの、発生率は1%以下をキープできるようになりました。

前述するような症例でお困りの際は、お気軽にご相談いただければと思います。



普段から足を観る機会が多いのですが、靴ずれや、爪切りの失敗など、日常生活の中で作ってしまうほんの些細な傷がきっかけで、下肢切断となる症例をみてきました。この時期になると、暖房器具による低温熱傷が原因となる創傷も多いので、私たち医療従事者が患者さんの足の問題を早期に発見し、対処することができるよう、こまめに足のチェックを実施し、異常や気になることがあれば、受診に導いていただきたいと思います。

## この季節に必要なフットチェックのポイント



フットケアをはじめよう! (月刊NURSING 2010 Vol.30 No.9 P15)より一部抜粋

上記のチェックで、すでに創傷がある場合や、白癬の疑い、皮膚の乾燥、爪に関する場合は皮膚科へ浮腫や冷感、歩行に影響があるような痛みを訴える場合は、心臓血管外科へお願いします。

# あかね会看護管理者交流研修会に参加してきました

今年で6回目となりました『あかね会看護管理者交流研修会』ですが、今回は阿品土谷病院が主催し、当院からは36名の看護管理者が参加してきました。

第1部では『ポジティブマネジメント』をテーマに、日本赤十字看護大学学部長の村田由香先生の御講演を聴き、第2部ではワールドカフェ形式で、『施設を越えて、組織強化、地域連携をポジティブな視点で考える』をテーマに語り合いました。ポジティブに物事を考えるということは、力強いビジョンを描くことができると実感しました。この研修で得たことをスタッフへ伝え、あかね会グループをご利用いただく皆様に笑顔にできるよう心をひとつにして努力して参りたいと思います。



地域医療連携室 伊美 礼子

## 各教室のご案内

**場所：8階会議室 参加費：無料 \*当日参加可能です**

《疾患を持つ方とそのご家族、又は興味のある方ならどなたでも参加できます》

教室名/時間	月日	内容(担当)	お問い合わせ
慢性腎臓病の食事教室 14:30~15:30	1月17日	「カリウム」の控え方 「たんぱく(2)」の摂り方 「献立」の立て方 医師/管理栄養士/看護師	3階南病棟 看護師長
	2月7日		
	3月7日		
慢性腎臓病教室 10:30~11:30	1月16日	「血圧と慢性腎臓病 (CKD)」 「透析と慢性腎臓病 (CKD)」 「心血管疾患と慢性腎臓病 (CKD)」 医師/薬剤師/看護師	3階南病棟 看護師長
	2月20日		
	3月20日		
心臓病教室 14:30~15:30	1月15日	なるほど 心疾患を疑う検査項目は？ (臨床検査技師) 備えあれば怖くない心臓の手術 (医師) 自分の身体は自分で守る 実践!!家庭での血圧と脈拍測定 (看護師)	心臓血管 センター
	2月5日		
	3月5日		
糖尿病教室 14:00~15:00	1月12日	実践しよう!糖尿病の運動療法 (理学療法士) 糖尿病の治療 (医師) 外食してはいけないの~糖尿病食の基本と外食について~ (管理栄養士) 糖尿病と認知症 (医師)	お薬窓口
	1月26日		
	2月9日		
	2月23日		
肝臓病教室 14:30~15:30	1月22日	肝臓病の栄養について/肥満のお話しパート2 (管理栄養士/医師) 肝臓病の運動療法 (理学療法士) 肝臓病の薬/C型肝炎~最新情報~ (薬剤師/医師)	北外来
	2月26日		
	3月26日		

## 《スタッフ紹介》

室長	消化器内科部長 荒滝 桂子		
転院相談	看護師	管理看護師長 伊美 礼子	楠本 万理
紹介予約	事務	高橋 正江 山崎 貴子	
医療相談	MSW	林 愛子 清水 香保里 桂木 真由美 丸本 彩香 福岡 紗希 印藤 由紀	
入退院センター	看護師	内部 麻紀 亀井 久美子 松本 慶子 宮本 江里子 村尾 麻衣	

医療法人あかね会 土谷総合病院 〒730-8655 広島市中区中島町3-30

\*地域医療連携室(紹介予約専用)\* TEL: 082-243-9222 FAX: 082-243-9223